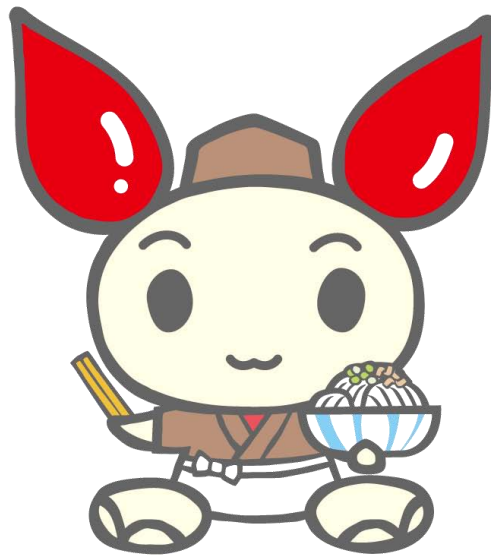


令和4年度

事業年報



香川県赤十字血液センター

目次

1	一年の動き	2
2	各部門の動き	
1.	献血推進部門	4
2.	採血部門	5
3.	供給部門	6
4.	学術情報部門	8
5.	品質情報部門	10
6.	献血ルーム	11
3	資料	
1.	施設概要	12
2.	組織概要	14
3.	献血状況	15
4.	供給状況	17
5.	表彰状況	18

1 一年の動き

令和4年4月

- ・「次回献血予約キャンペーン」：献血ルーム（3/1～4/30）
- ・「平日限定400mL献血キャンペーン」：献血ルーム（4/1～4/28）
- ・「TVアニメ「SPY×FAMILY」献血コラボキャンペーン」：献血ルーム（4/11～7/10）

令和4年5月

- ・「ルーム限定400mL献血予約キャンペーン」：献血ルーム（5/13～6/30）
- ・第70回日本輸血・細胞治療学会学術総会：愛知、WEB開催（5/27～5/29）

令和4年6月

- ・「全血予約キャンペーン」：献血ルーム（6/1～6/30）
- ・「成分献血キャンペーン」：献血ルーム（6/1～7/31）

令和4年7月

- ・第58回献血運動推進全国大会：愛媛、WEB開催（7/14）
- ・「400mL献血予約キャンペーン」：献血ルーム（7/30～8/31）
- ・中国四国学生統一献血キャンペーン（サマーキャンペーン）：東かがわ市、高松市、献血ルーム（7/1～9/30）

令和4年8月

- ・高校生ボランティアネットワーク血液センター見学会：血液センター（8/2～8/3）
- ・「コミックマーケット100献血応援イベント」：献血ルーム（8/13～9/30）
- ・高校生街頭献血キャンペーン：高松市（8/20）

令和4年9月

- ・第67回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会：徳島、WEB開催（9/10）
- ・「初めての献血者もしくは400mL献血予約者キャンペーン」：献血ルーム（9/1～9/30）

令和4年10月

- ・第46回日本血液事業学会：兵庫、WEB開催（10/11～10/13）
- ・香川県石油コンビナート総合防災訓練：坂出市（10/18）
- ・緊急自動車研修：高砂市（10/20～10/21）
- ・香川県総合防災訓練：高松市（10/23）

- ・大型自動車研修：高砂市（10/27～10/28）
- ・第29回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム：東京、WEB開催（10/27～10/29）
- ・「400mL献血予約者キャンペーン」：献血ルーム（10/1～10/31）
- ・「平日限定成分献血キャンペーン」：献血ルーム（10/3～10/31）

令和4年11月

- ・「献血次回予約キャンペーン」：献血ルーム（11/1～11/30）

令和4年12月

- ・令和4年度香川県造血幹細胞移植推進協議会：WEB開催（12/6）
- ・「全国学生クリスマス献血キャンペーン2022」：さぬき市、高松市、献血ルーム（12/1～12/25）
- ・「クリスマス献血キャンペーン」：献血ルーム（12/17～12/25）
- ・「コミックマーケット101献血応援イベント」：献血ルーム（12/30～1/30）
- ・「複数回成分献血キャンペーン」：献血ルーム（12/12～3/19）

令和5年1月

- ・赤十字血液シンポジウム：広島・香川、WEB開催（1/21）
- ・令和4年度中四国ブロック内血液センター災害対応訓練（1/27）
- ・卒後臨床研修プログラム（高松赤十字病院）：（1/30～2/1）
- ・「年始献血キャンペーン」：献血ルーム（1/2～1/3）
- ・「高松市民献血の日キャンペーン」：献血ルーム（1/7～1/9）
- ・「全血献血予約キャンペーン」：献血ルーム（1/10～2/28）

令和5年2月

- ・卒後臨床研修プログラム（高松赤十字病院）：（2/6～2/8）
- ・香川県血液対策協議会：香川県庁（2/14）
- ・「高松市民献血の日キャンペーン」：献血ルーム（2/4～2/5）
- ・「ラブラッドアプリ献血予約キャンペーン」：献血ルーム（2/1～3/31）

令和5年3月

- ・「高松市民献血の日キャンペーン」：献血ルーム（3/4～3/5）
- ・SANUKI ROCK COLOSSEUM 2023ブース出展：高松市（3/18・19）

2 各部門の動き

1. 献血推進部門

医療に欠かすことのできない輸血用血液は、まだ人工的につくることができません。また、長い期間にわたって保存することもできません。そのため、輸血に必要な血液を安定的に確保する必要があります。

しかしながら、2022年度も新型コロナウイルスの影響により献血活動等が制限されるなど、非常に輸血用血液の確保に苦慮する1年となりました。

2022年度の香川県の献血者は、公共団体機関及び献血推進団体等の協力を得て、37,656人となりました。（前年度比99.6%） 移動採血車は341台配車し、18,956名のご協力をいただきました。献血ルーム『オリーブ』では2022年度は360日開所し、18,700名に献血のご協力をいただきました。



献血推進団体や学生による街頭での呼びかけ

安全な献血者を安定的に確保することを目的にした『複数回献血クラブ ラブラッド』には1,838名に入会いただきました。

少子高齢化が年々進んでいくなか、若年層による献血が将来への安定供給には必要不可欠となります。2022年度も引き続き、10代の献血者確保に取り組んでまいりました。コロナ禍ということもあり、学域献血の実施が制限されるなどもありましたが、1,454名の献血へのご協力をいただきました。（前年度比105.4%）

そのような中、若年期からの献血思想の普及啓発を目的とした「高校生ボランティアネットワーク血液センター見学会」を8月17日に行い、県内の高校3校、計5名にご参加いただきました。



献血バス内で採血について説明中



高校生には献血もたくさん協力いただけました

2. 採血部門

1. 新型コロナウイルス感染症（以下新型コロナ）

2020年度以降同様に、新型コロナ対策に追われた1年となりました。

新型コロナ対応として、職員の健康チェック（出勤前及び出勤時）、手洗い、手指消毒の徹底、献血会場の消毒及び清掃、来所者全員に対する体温測定、アクリル板の設置、移動採血車内を抗ウィルス・抗菌目的でプレミアム触媒を行い安全安心な献血会場の運営に取り組みました。

感染予防のためエプロンをディスポーザブルエプロンにし、服装規定を変更しました。

2. 看護師の教育体制について

血液事業に携わる専門職業人としての知識・技術を高め、自律した看護師を育成することを目的とし令和元年より「赤十字血液センター看護師のキャリア開発ラダー」を導入しています。組織的な教育体制を確立し、個々の成長段階に応じた教育支援が行える体制を整えています。今年度キャリア開発ラダーレベルⅠを1名が取得し、現在6名（内3名は病院にて取得）が取得しています。

3. ドナースペシャリストの育成について

献血者の個別性を捉え察知し献血者の満足を得るとともに、採血副作用において予期しない事象が発生した場合は自ら解決し、献血者へ適切かつ迅速なケアができるよう、採血副作用に関する専門看護師を育成する目的で令和3年度よりドナースペシャリストの育成が行われています。対象者は、血液センターの採血実務経験3年以上、採血副作用発生時にはリーダーシップを発揮し、職員に適切な指示ができる者とし、令和4年度は3名が研修会に参加しました。採血副作用、脳疾患、循環器疾患、献血者健康被害救済制度、看護倫理、一次救命処置等の研修後に筆記試験とレポート提出により評価が実施され3名全員がドナーケアスペシャリストを取得しました。現在6名がドナースペシャリストとして採血現場で勤務し課員の指導を行っています。

4. 学会認定・アフェレーシスナース制度について

血液成分分離装置を用いて行われるアフェレーシスは、抹消血幹細胞、リンパ球、血小板等の採取で広く行われています。血液センターでは献血ルームにて、成分採血装置を用いて血小板と血漿を採血しています。アフェレーシスの正しい知識を有し、アフェレーシスを受けるドナーと患者への適格な看護を実践し、アフェレーシスの安全性の向上に寄与することのできる看護師を育成することを目的とした認定制度です。平成22年度にこの制度が導入されて以降、香川県赤十字血液センターでは、8名の看護師が学会認定・アフェレーシスを取得しています。献血ルームでアフェレーシス業務に従事し課員の指導を行っています。現在までの活動内容は、「成分献血におけるインシデント事例集作成」「副作用対応における教育訓練教材DVDの作成」「血小板献血の品質に係る容量調整、単位割れの調査・分析」を行っています。

3. 供給部門

1. 学術情報・供給課の動向

令和4年度も、新型コロナウイルスの感染が広がり、特に8月・1月は過去最高の感染者数となり、まん延防止等重点措置が発令されました。そのため、イベント中止等で献血中止もあり血液確保が厳しい状況にありましたが、医療機関に滞りなく納品する事が出来ました。学術情報担当者と連携し、受注から供給に至る業務と医療機関との対応を一体的に行い、より一層、医療機関からの多様なニーズに応え安全かつ迅速に供給できるよう努めています。

①第67回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会徳島開催（9月10日）

今年度は徳島県での開催でしたが、新型コロナウイルスの影響のため、ZOOMによる完全Web開催での実施となりました。徳島大学病院 輸血・細胞治療部 李悦子先生による特別講演「造血幹細胞移植におけるHLA適合性とHLA抗体の関りについて」が実施となりました。

②令和4年度 赤十字血液シンポジウム（1月21日）

広島大学広仁会館を会場に実施され、サテライト会場として島根県赤十字血液センター・香川県赤十字血液センターを会場に実施されました。「安定した血液事業を目指してー災害・感染症の観点からー」をテーマに実施され、国立感染症研究所 副所長 俣野哲郎先生による特別講演「COVID-19ワクチンに関する最新の知見について」が実施となりました。

③中四国ブロック内血液センター緊急走行指導者養成研修会安全講習（10月20日～10月21日）

今年度は、中四国ブロック合同緊急走行指導者養成研修会を実施することができ、学術情報・供給課より1名参加しました。はりま交通研修センターで、緊急走行訓練・スキッドカー・急ブレーキ体験等訓練を通じ、安全意識を強く持つようになりました。

④輸血合同療法委員会・輸血懇話会

各医療機関の輸血療法委員会の方が集まる輸血合同療法委員会と、血液センターとの情報交換の場である輸血懇話会については、前年度に続き今年度も新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

2. 輸血用血液製剤の供給状況

令和4年度の供給実績は、赤血球製剤53,320単位（対前年比99.4%）、血漿製剤15,382単位（対前年比103.9%）、血小板製剤63,990単位（対前年比106.1%）、計132,692単位（対前年比103.1%）でした。

3. 供給体制の検討について

①定時配送便率は、令和3年度の81.0%から82.4%まで上がり、本社目標の80%以上を達成することができました。緊急持出血での出庫数を減らし、医療機関に定時配送での納品を積極的に依頼し、医療機関の協力を得られたことが要因の一つです。

②令和元年度より新しい血液製剤発注システムの運用が始まり、令和3年度末48の医療機関から令和4年度では96の医療機関で運用いただいております。発注システムでの発注率は、令和3年3月74.1%、令和4年3月88.0%と向上し、本社目標の80%を達成することができました。医療機関への説明を積極的に行ってきたことが成果として現れました。

4. 次年度に向けて

医療機関との連携を高め、受注業務全般に必要な輸血学を含む医学的知識にかかる研修を実施し職員の意識向上を図ります。定時配送率につきましては、令和5年度本社目標80%は達成できているが、常に80%を超えるよう定期配送での供給についてさらに医療機関への協力を求めています。また、緊急持出血削減のため、持出数の見直しをさらに進めていきます。血液製剤発注システムについて、令和6年4月の全面移行までに100%達成できるよう、より多くの医療機関に普及促進を図ります。また、新型コロナウイルスの感染防止のため、引き続きアルコール消毒・マスク着用などの感染対策を実施します。



中四国ブロック内血液センター緊急走行指導者養成研修会安全講習

4. 学術情報部門

医薬情報活動の概要（令和4年度：2022年度）

医療機関に供給された血液製剤は、必要な情報（品質・有効性・安全性等）が付加されてはじめて適正に使用されます。その情報を「医療関係者に提供し、使用された情報を収集し、適切に分析・評価された結果を医療関係者へフィードバックする」これら一連の役割を担っているのが医薬情報担当者（MR：Medical Representative）で、学術情報・供給課 学術係がその業務を行っています。いわば医療のパートナーとして訪問活動をしており、なかでも、輸血に伴う副作用・感染症自発報告症例を医療関係者から情報収集し分析・評価することは、血液製剤の安全対策にも反映される重要な業務と位置付けられています。また、血液製剤の取り扱いに関する問い合わせの対応や医療従事者への説明会を実施することで、有限で貴重な血液製剤を適正に使用していただくよう活動しています。

医療機関への情報提供

2022年度も昨年同様、新型コロナウイルスにより医療機関によっては訪問規制等があり例年通りの訪問が難しい1年でしたが配送支援時、オンライン面談、メール、電話等での情報提供、情報収集を行いました。また、説明会についてもオンライン説明会、医療機関用動画配信等を実施しました。

輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を医療機関へ配布しました。また、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会を開催しました。

輸血情報・お知らせ文

発行年月	内容
令和4年4月	輸血情報 診療報酬特別号 2204
令和4年6月	お知らせ文 「血液製剤等に係る遡及調査ガイドラインの一部改正について（HEV の遡及調査について）」
令和4年8月	輸血情報 2208-176 「輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例 -2021 年-」 輸血情報 2208-177 「赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用 -2021 年-」
令和4年12月	輸血情報 2212-178 「血小板製剤の輸血による細菌感染が疑われた事例について」 お知らせ文 「（照射）赤血球液-LR「日赤」の有効期間変更のお知らせ」 お知らせ文 「（照射）赤血球液-LR「日赤」の注意事項等情報改訂のお知らせ」
令和5年2月	「Haemovigilance by JRCS 2021」ホームページに掲載するお知らせ

説明会

開催年月日	内容	開催機関
令和4年4月	輸血用血液製剤の取り扱いについて	T病院
令和4年6月～ 令和5年3月	輸血に関するWebセミナー&意見交換会 (全7回)	徳島・香川・高知県内医療機関
令和4年7月～ 令和4年12月	看護師さん向け血液センターWebセミナー (全12回)	徳島・香川・愛媛・高知県内医療機関
令和4年8月	令和4年度輸血用血液製剤に関する勉強会	岡山・香川県内医療機関
令和5年2月	輸血用血液製剤の取り扱いについて	県内高等学校 看護科
令和5年3月	輸血用血液製剤の取り扱いについて	県内高等学校 看護科
	輸血副作用 (Web)	香川県内医療機関

5. 品質情報部門

品質情報課では、献血者の意思を活かし、医療現場の期待に応える持続可能な血液事業の基盤を確立するための4つの品質方針を基に、全国どこでも、同じ品質の血液製剤が提供され、また更に品質が向上することを目指して活動しています。

品質方針

**献血者の意思を活かし、医療現場の期待に応えるため、
関係法令等を遵守し持続可能な血液事業の基盤を確立する**

- 1 行政、医療関係者、教育関係者らと連携して、医療を支える献血文化を次世代に引き継ぎます。**
- 2 献血者から信頼される採血、適切な検査・製造体制により、患者に安心、安全な血液製剤を提供します。**
- 3 行政、医療機関等と連携し、適切な供給体制を実現します。**
- 4 献血から供給に至る、各業務間の情報共有・連携を強化して、的確・効率的な事業運営を推進します。**

令和元年 11 月 1 日

血液事業本部長

高橋 孝喜



6. 献血ルーム

今年度は、5月に新型コロナウイルスの感染防止として献血ルームの玄関入口を手動から自動扉に改修しました。

また、9月28日より献血カードのアプリ版を開始しまして、献血予約や事前問診回答もアプリで可能になりました。アプリを提示していただくと献血カードの代わりにとなりスムーズに受付をしていただくことが可能になりました。

イベントとしては土日祝を中心に月4回程、骨髄バンク説明員の方が来られて骨髄バンクについて説明をしてくれるドナー登録説明会を実施しました。

少子高齢化によって若年層の人口は減少すると考えられますが、将来に渡って安定した輸血用血液製剤確保の為に献血の事前予約に力を入れて取り組みました。事前に予約いただきますと優先的に受付・問診・事前検査・採血をしていただくことができ待ち時間の短縮や、予約して献血するとラブラッドのポイントが貯まり限定の献血記念品と交換できるなど広報活動を行い次回予約に繋げていきました。今後も献血のより一層の普及啓発を図ることを継続して取り組んでいきたいと考えています。



ラブラッドアプリ導入



玄関入口を自動ドアに改修

3 資料

1. 施設概要

1) 香川県赤十字血液センター



所在地	香川県高松市郷東町字新開587番地1
敷地	3,300.14㎡（県有地・無償貸与）
建物	延床面積2,778.6㎡（1987年（昭和62年）3月20日竣工）
移動採血車	3台

1階平面図



3階平面図



4階平面図



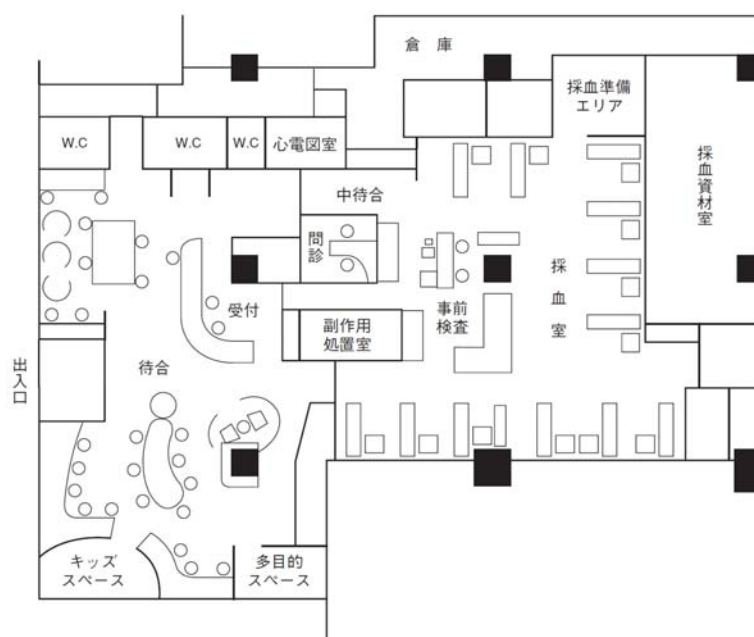
2階平面図



2) 丸亀町出張所



所在地	香川県高松市丸亀町13-3 高松丸亀町参番街東館3階
建物	延床面積491.33㎡（民間ビル賃貸）（2011（平成23年）年4月5日に移転）
採血ベッド	10台



2. 組織概要

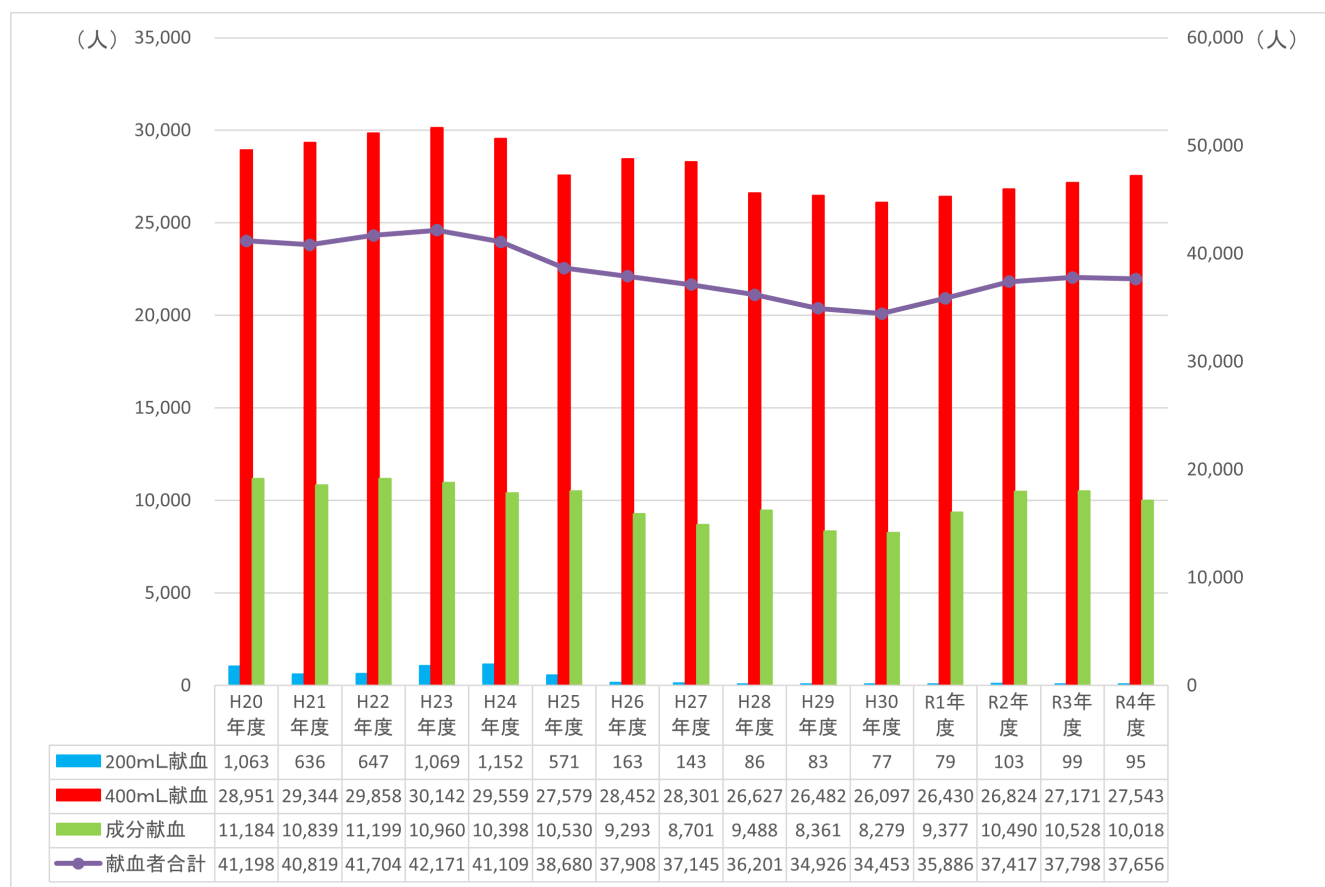
令和4年4月1日現在

組織	1 部 5 課11係、 1 出張所 2 係
職員数	62名（正職員40名、常勤嘱託職員 7 名、常勤臨時職員 3 名、非常勤職員12名）

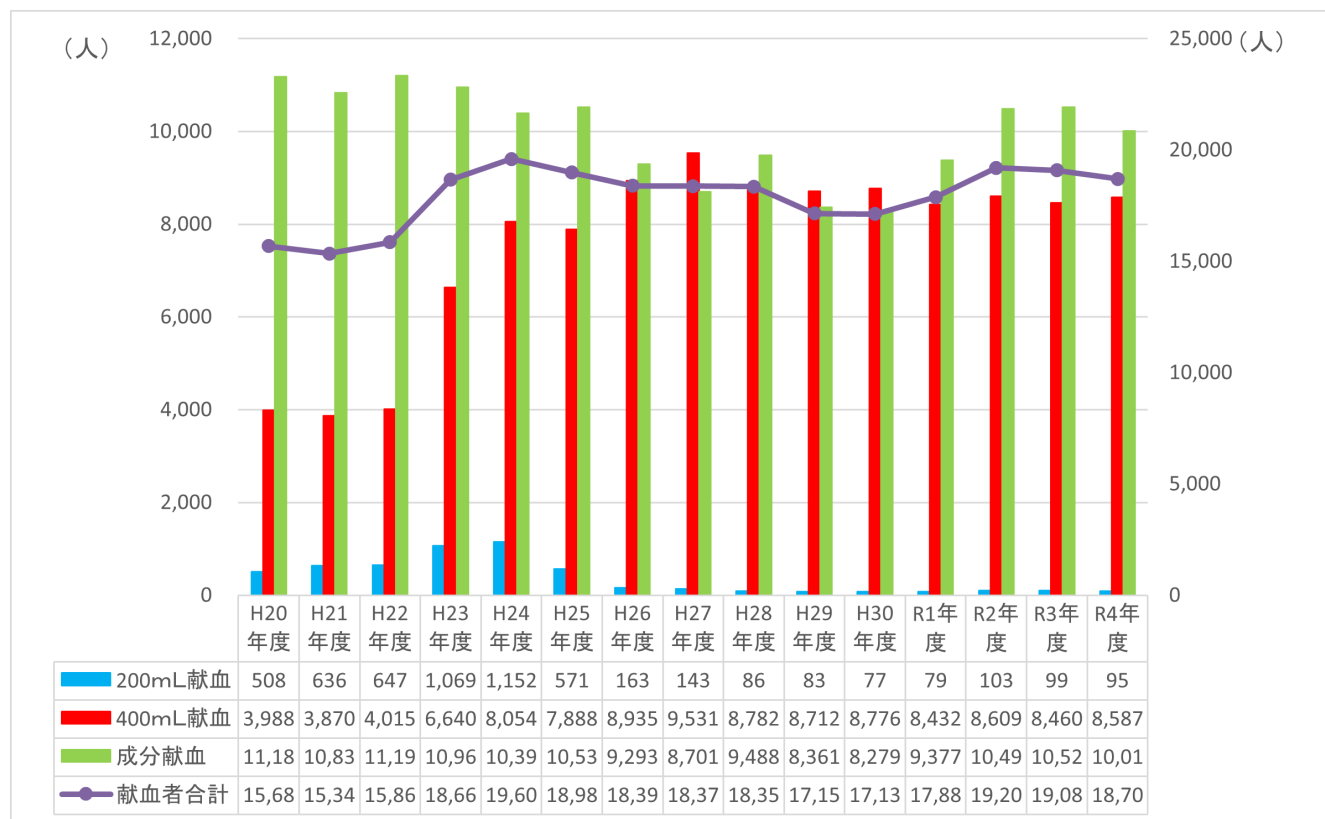


3. 献血状況

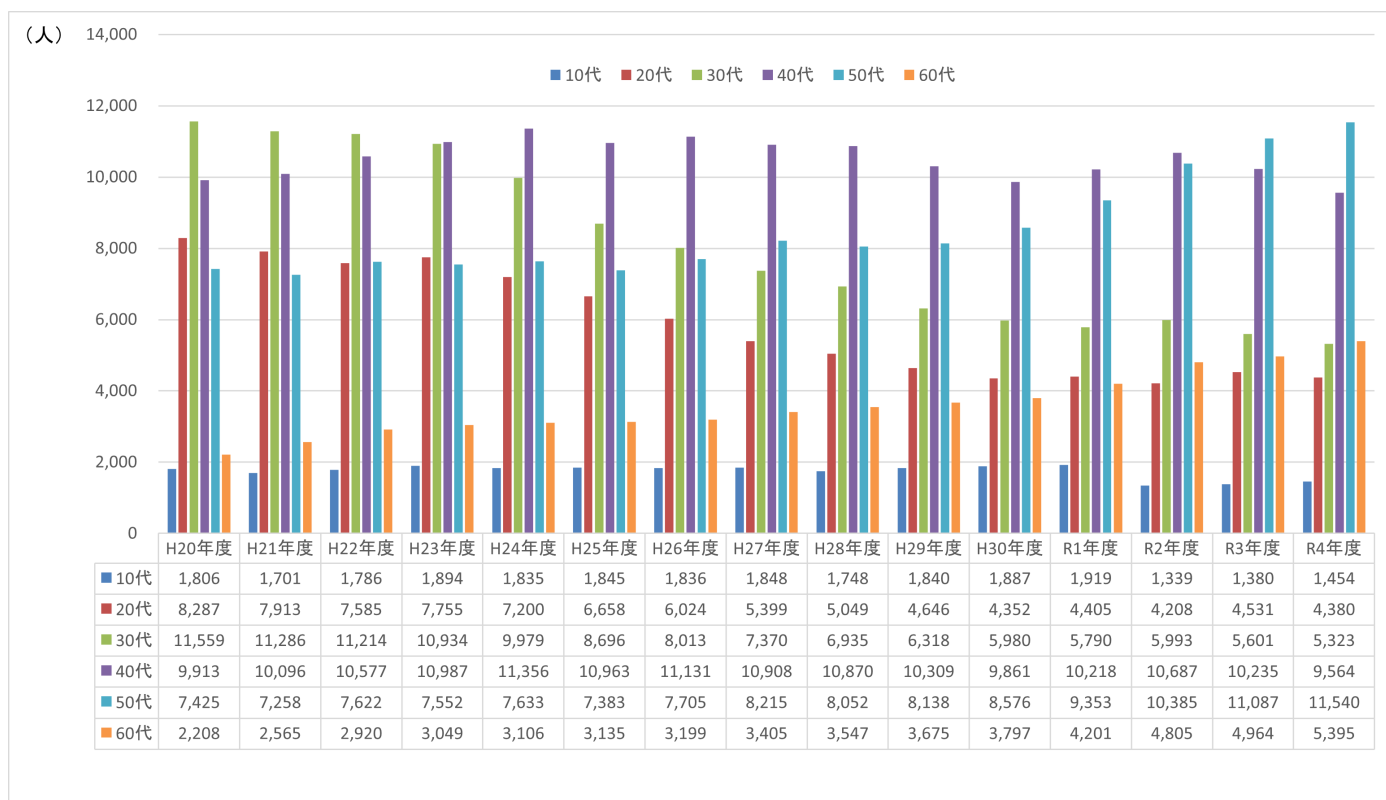
1) 香川県 年度別献血数（平成20年度～令和4年度）



2) 献血ルーム（平成20年度～令和4年度）



3) 年代別献血者数（平成20年度～令和4年度）



4) 性別、年齢別、職業別献血者数（令和4年度）

採血種類	10代		20代		30代		40代		50代		60代		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200mL献血	32	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	63	95
400mL献血	1,010	302	2,626	1,126	3,132	1,031	4,966	1,657	5,853	2,036	2,859	945	20,446	7,097	27,543
血漿献血	22	20	338	161	588	256	1,515	558	2,118	544	1,122	160	5,703	1,699	7,402
血小板献血	5	0	125	4	316	0	867	1	988	1	309	0	2,610	6	2,616
合計	1,069	385	3,089	1,291	4,036	1,287	7,348	2,216	8,959	2,581	4,290	1,105	28,791	8,865	37,656

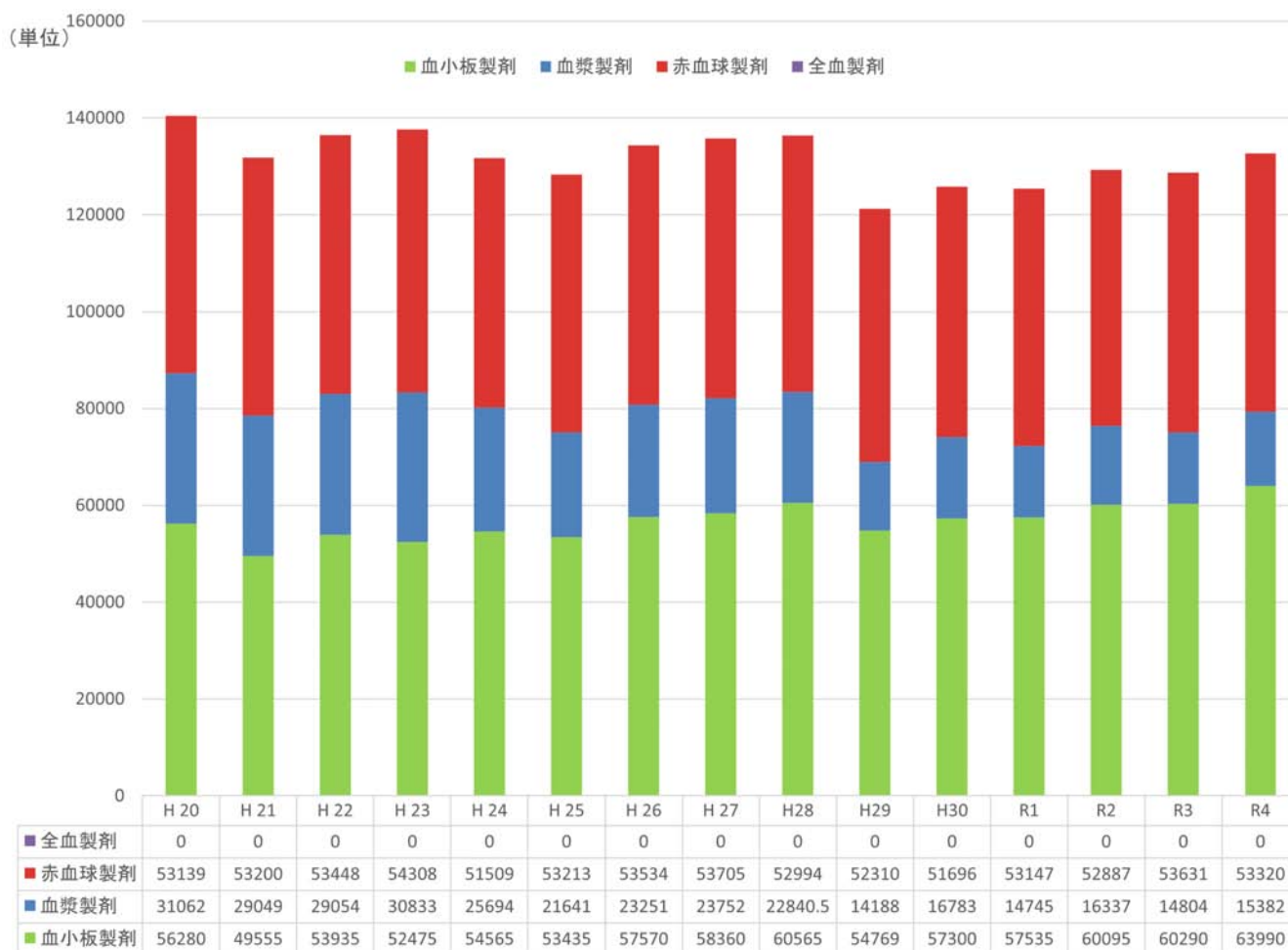
(人)

採血種類	公務員		会社員		高校生		大学生		その他学生		主婦		自営業		その他		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200mL献血	2	0	0	0	29	62	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	32	63	95
400mL献血	3,645	753	12,746	3,041	474	80	737	323	319	213	0	1,332	941	159	1,584	1,196	20,446	7,097	27,543
血漿献血	990	115	3,418	758	6	5	46	38	22	32	0	361	337	37	884	353	5,703	1,699	7,402
血小板献血	388	0	1,632	6	1	0	20	0	9	0	0	0	163	0	397	0	2,610	6	2,616
合計	5,025	868	17,796	3,805	510	147	803	361	351	246	0	1,693	1,441	196	2,865	1,549	28,791	8,865	37,656

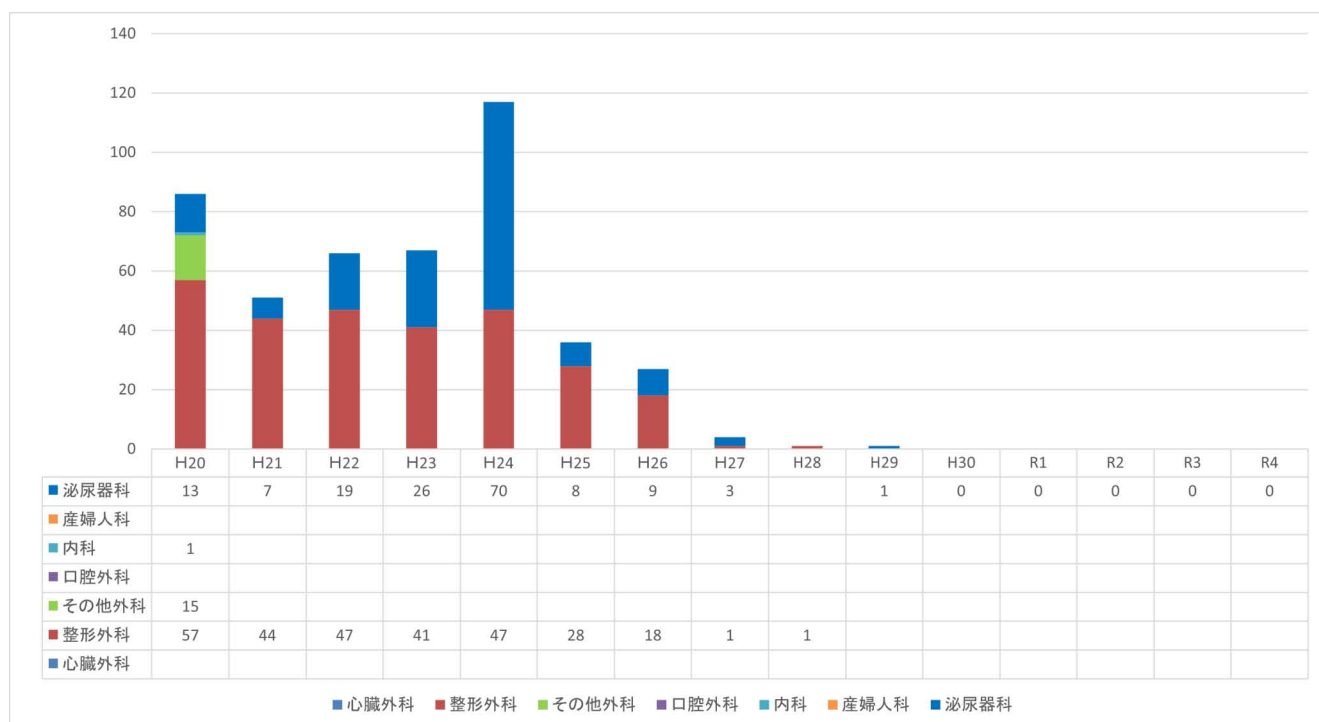
(人)

4. 供給状況

1) 香川県 年度別血液製剤別供給状況の推移（平成20年度～令和4年度）



2) 香川県 年度別自己血協力状況の推移（平成20年度～令和4年度）



5. 表彰状況

1) 献血団体功労

	支部長感謝状 銀色枠 活動継続年数5年以上	支部長感謝状 金色枠 活動継続年数10年以上
東讃保健所	株式会社ムーミー川島店 香川県東かがわ警察署 株式会社四国総合研究所	株式会社三祥 香川大学創造工学部
小豆保健所		社会福祉法人サンシャイン会
中讃保健所	マックスバリュ西日本株式会社マルナカ栗熊店	イオンリテール株式会社イオンモール綾川 今治造船株式会社丸亀事業本部丸亀工場蓬莱事業部
西讃保健所		株式会社イズミゆめタウン三豊

	銀 色 有 功 章 活動継続年数15年以上	金 色 有 功 章 活動継続年数20年以上	社長感謝状（金色有功章受賞後） 活動継続年数30年以上
東讃保健所	株式会社タダノ技術研究所 香川県立三本松高等学校	四国旅客鉄道株式会社	帝國製薬株式会社
小豆保健所			
中讃保健所		陸上自衛隊善通寺駐屯地	
西讃保健所	ユニ・チャーム株式会社		

2) 献血推進団体功労

	支部長感謝状 銀色枠 活動継続年数5年以上	支部長感謝状 金色枠 活動継続年数10年以上
東讃保健所	香川県建設業協会高松支部 かがわ・骨髄バンクを応援する会	
小豆保健所		
中讃保健所	琴平町商工会青年部	
西讃保健所	観音寺市大豊商工会	

	銀 色 有 功 章 活動継続年数15年以上	金 色 有 功 章 活動継続年数20年以上	社長感謝状（金色有功章受賞後） 活動継続年数30年以上
東讃保健所	高松源平ライオンズクラブ		木太地区保健委員会
小豆保健所			
中讃保健所			善通寺ライオンズクラブ
西讃保健所	香川県建設業協会西讃支部		

